



2008年5月16日

## 中国特許庁は、ヒト腫瘍および神経変性疾患に関わる薬剤ターゲット、RX50 に対する特許を付与

株式会社ジーエヌアイ（以下、ジーエヌアイ）は、中国特許庁が当社 100%子会社の上海ジェノミクスに、重要な薬剤ターゲットのひとつである RX50 と、それに関連した用途特許申請（中国特許 ZL 200380110915.8.）に対して特許権を付与したことをお知らせします。この特許はジーエヌアイの国際的な特許ポートフォリオに新しく追加されます。現在、当社の研究者は、抗がん剤の開発に向けて本ターゲットを阻害する低分子化合物をスクリーニングに入っています。

RX50 キナーゼは、2007年に上海ジェノミクスにより最初に同定された細胞増殖制御因子であり、ヒト腫瘍および神経変性疾患の薬剤ターゲットになり得るタンパク質です。サイクリン依存性キナーゼ（CDK）ファミリーの新規薬剤ターゲットのひとつであり、正常細胞とがん細胞の両方の増殖を制御する重要な働きを示します。また当社の研究者は、RX50 がサイクリンD3（CCND3）と特異的に相互作用し、細胞周期阻害剤p21と共に、三分子からなる複合体を形成することを発見しました。p21は重要ながん抑制因子で、ヒト腫瘍の多くのタイプで頻繁に突然変異が見られています。これらの結果は、著名な科学研究誌「米国科学アカデミー紀要」に掲載されています\*1。

中国には 310 万人、日本には 143 万人のがん患者がいます。毎年中国では、200 万人が新たながん患者と診断され、約 150 万人が死に至っています\*2。中国の抗がん剤市場は、年に 17%の伸びを示しています\*3。中国と日本において、肺がんや胃がんなどは、がん頻度リストの第 1 位と第 2 位を占めています。CDKの低分子阻害剤は、多くの国々で臨床研究中です。

当社専務取締役 CSO（最高科学責任者）ジュン・ウー博士は、RX50 の特許権確立を受け、今後安心して新たな創薬プログラムに取り組むことが出来るとし、「キナーゼ阻害剤は、さまざまな種類のがん治療に有効であることが立証されています。数年にわたる遺伝子ネットワーク技術とたんぱく質間相互作用スクリーニングを活用した薬剤ターゲット探索を経て、潜在的に価値のある薬剤ターゲット群を同定し、検証しました。私たちの研究は今後、徐々に薬剤ターゲット探索から、より下流の創薬および薬剤開発へとシフトしていくでしょう。」と述べています。

\*1

[http://www.ncbi.nlm.nih.gov/sites/entrez?Db=pubmed&Cmd=ShowDetailView&TermToSearch=17517622&ordinalpos=2&itool=EntrezSystem2.PEntrez.Pubmed.Pubmed\\_ResultsPanel.Pubmed\\_RVDocSuma](http://www.ncbi.nlm.nih.gov/sites/entrez?Db=pubmed&Cmd=ShowDetailView&TermToSearch=17517622&ordinalpos=2&itool=EntrezSystem2.PEntrez.Pubmed.Pubmed_ResultsPanel.Pubmed_RVDocSuma)

\*2

<http://www.crinordic.com/2946/2006/12/11/176@172811.htm>

<http://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/kanja/05/05.html>

\*3

<http://www.hyey.com/data/news/200608/71124.html>

\*\*\*\*

#### ジーエヌアイについてAbout GNI

2001年に設立された臨床段階の国際的な創薬企業（本社東京）です。2005年6月に上海ジェノミクス（2001年設立）を買収し、中国上海において臨床試験等の重要な事業活動を行っています。また日中の一体化した強みを生かし、他の国際的製薬企業との共同研究を行ってきました。福岡および中国の北京、天津、鄭州にも事業拠点を持っています。詳細は、ホームページ [www.gnipharma.com](http://www.gnipharma.com) と [www.shanghaigenomics.com](http://www.shanghaigenomics.com) をご覧下さい。